

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<研究課題名>

心房細動に対するカテーテルアブレーションにおける肺静脈壁厚、電位情報の有用性の検討

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者)磯 一貴

<研究期間>

承認日 ~ 西暦2020年3月31日

<研究の目的と意義>

心房細動に対する唯一の根治的治療法として、カテーテルアブレーション(CA)が知られています。心房細動の原因は肺静脈起源の上室期外収縮が多く、そのため心房細動に対するCAは肺静脈隔離術が一般的です。近年、CAを円滑かつ安全に行うためのツールとして、3Dマッピングシステムが開発され、発展してきました。3Dマッピングシステムの開発によって安全性、有効性の向上が認められてきています。しかし、デバイスが進歩しているにもかかわらず、カテーテルアブレーションによる洞調律維持率は8割前後と著明には改善しておりません。その要因として、肺静脈壁厚の関与が考えられています。肺静脈壁厚と成功率の関係を明らかにすることでさらなる安全性、有効性を向上させることができる可能性があります。本研究の目的は、心房細動に対する肺静脈隔離術における肺静脈壁厚、電位情報の有用性を評価することです。

<対象となる患者さん>

西暦 2014年9月1日~西暦 2016年3月31日の期間に心房細動に対するカテーテルアブレーションの治療を受けた方

<研究の方法>

2014年9月から2016年3月までに、当院循環器内科において、カテーテルアブレーションの検査・治療を受けられた患者さんの、治療内容やカテーテルアブレーションデータなどのデータを使用して肺静脈壁厚の研究を行います。なお、本研究では、必要な情報のみを統計資料として集計します。患者さんのお名前や個人情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1)

循環器内科 氏名:磯 一貴

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2410 (PHS)8987

心房細動に対するカテーテルアブレーションにおける肺静脈壁厚、電位情報の有用性の検討

1. 研究の対象

2014年9月～2016年3月に当院で心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けられた方

2. 研究目的・方法

心房細動に対する唯一の根治的治療法として、カテーテルアブレーション(CA)が知られています。心房細動の原因は肺静脈起源の上室期外収縮が多く、そのため心房細動に対するCAは肺静脈隔離術が一般的です。近年、CAを円滑かつ安全に行うためのツールとして、3Dマッピングシステムが開発され、発展してきました。3Dマッピングシステムの開発によって安全性、有効性の向上が認められてきています。しかし、デバイスが進歩しているにもかかわらず、カテーテルアブレーションによる洞調律維持率は8割前後と著明には改善しておりません。その要因として、肺静脈壁厚の関与が考えられています。肺静脈壁厚と成功率の関係を明らかにすることでさらなる安全性、有効性を向上させることができる可能性があります。本研究の目的は、心房細動に対する肺静脈隔離術における肺静脈壁厚、電位情報の有用性を評価することです。研究期間は2020年3月31日までを予定しています。

方法としては、2014年9月から2016年3月までに、当院循環器内科において、カテーテルアブレーションの検査・治療を受けられた患者さんの、治療内容やカテーテルアブレーションデータなどのデータを使用して肺静脈壁厚の研究を行います。なお、本研究では、必要な情報のみを統計資料として集計します。患者さんのお名前や個人情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、腹囲、心房細動のタイプ（発作性、持続性、永続性）、基礎疾患（高血圧、糖尿病、脳梗塞の既往、虚血性心疾患、その他の心筋症）、使用薬剤、心臓超音波所見、アブレーション情報、CTなど画像情報、観察期間に

おける心房細動の再発の有無、カルテ番号、イニシャル 等
試料：血液

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、本研究は常時、拒否することが可能であり、研究不参加を申し出られた場合も、
不利益を受けることはありません。

研究責任者：

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 磯 一貴（内線番号 8987）

New Text